

※ 以下、各選択肢の右に該当クラス数を記す。（全回答数に対する回答率も附記）

A（問1～10）：授業担当者として教授技法や授業内容等に関し、教育活動を自己点検し、次の①～④のうち該当する丸数字を選んでください。 ①:あてはまる ②:ややあてはまる ③:あまりあてはまらない ④:あてはまらない

設問1 シラバスに沿って授業を行えた。

①:7 (88%) ②:1 (12%) ③:0 (0%) ④:0 (0%) 未回答:0 (0%)

設問2 学生の理解度やレベルを踏まえて授業内容を設定・調整した。

①:7 (88%) ②:1 (12%) ③:0 (0%) ④:0 (0%) 未回答:0 (0%)

設問3 話し方、板書の仕方、機器又は器具の使い方、等が適切だった。

（教授技法の適・不適の観点で柔軟に回答してください。）

①:5 (63%) ②:3 (37%) ③:0 (0%) ④:0 (0%) 未回答:0 (0%)

設問4 重要ポイントを明示し、分かり易く説明した。

①:5 (63%) ②:3 (37%) ③:0 (0%) ④:0 (0%) 未回答:0 (0%)

設問5 学習意欲や知的好奇心・関心を掻き立てたり満足させる教え方ができた。

①:4 (50%) ②:4 (50%) ③:0 (0%) ④:0 (0%) 未回答:0 (0%)

設問6 受講生の信頼を得るような授業態度で授業に臨んだ。

（授業を周到に準備し、休講・遅刻を極力控え、進行を妨げる行為（私語など）に対して毅然として実施した。）

①:8 (100%) ②:0 (0%) ③:0 (0%) ④:0 (0%) 未回答:0 (0%)

設問7 受講者とのコミュニケーションを図りながら授業を進めた。

（発問への回答を学生に求めた/学生からの質問・発言を促した/学生の理解度を確かめながら進めた

/学生の授業への能動的な参加（アクティブ・ラーニング）を促した 等）

①:4 (50%) ②:4 (50%) ③:0 (0%) ④:0 (0%) 未回答:0 (0%)

設問8 授業内容に見合った予習・復習或いは発展学習を課した。

①:4 (50%) ②:2 (25%) ③:2 (25%) ④:0 (0%) 未回答:0 (0%)

設問9 総合的に判断して学生を満足させる授業が行えた。

①:5 (63%) ②:3 (37%) ③:0 (0%) ④:0 (0%) 未回答:0 (0%)

設問10 シラバスに掲げた当初の授業目標（ねらい）は達成された。

①:7 (88%) ②:1 (12%) ③:0 (0%) ④:0 (0%) 未回答:0 (0%)

**B（問 11～15）：FD 活動についてお尋ねします。**

設問 11 この授業科目に関してこの 1 年間取り組んだ FD 活動を選んでください。（複数回答可）

- ①他教員の授業参観： 1 (13%)
- ②学内外の FD 講演会等への参加： 7 (88%)
- ③他大学の FD 活動の視察： 0 (0%)
- ④その他： 0 (0%)

設問 12 今後取り組もうと考えている FD 活動を選んでください。（複数回答可）

- ①他教員の授業参観： 5 (63%)
- ②学内外の FD 講演会等への参加： 4 (50%)
- ③他大学の FD 活動の視察： 0 (0%)
- ④その他： 0 (0%)

設問 13 昨年度も同一科目を担当した方は、前年度の授業評価に基づき、改善した点を書いてください。

該当するクラスのうち、 回答：5 クラス（順不同）

[1] 講義の主たる内容が PC(特にマイクロソフトオフィス)の使用法の解説となるため、習熟度にバラつきのある学生を同一講義内で指導することは非常に難しい。昨年から改善した点は、PC を苦手とする学生に配慮し、講義スピード・内容量の調整を行い、全受講生の理解度・習熟度の向上を目指した。

[2] 学習意欲や知的好奇心・関心を掻き立てたり満足させるような授業を心がけた。

[3] テキストを変更するとともに、課題の見直しを行った。

[4] 進度に合わせ、教科書の演習課題を取捨選択した。

[5] 再履修生用の科目であるため、情報・数量スキル T(6)と同様

設問 14 自分の授業の評価できる点や反省すべき点、或いは、この FD 活動レポートに関して特記すべき点があれば書いてください。

回答： 5 クラス（順不同）

[1] 上記と同様ではあるが、演習科目の特性上、座学のような講義進行は難しい。しかしながら、学生との対話(アクティブラーニングの機会)を増やすことで、講義内容の充実を図っていきたい。”

[2] 4 学期制調整の休講日に気づかなく、その他の原因も合わさって、授業計画が遅れた。授業評価アンケートの実施を完全に失念してしまった。例年、配布されたアンケート用紙を目に留めることが一種のリマインダーの役割をしたが、毎日、大量に配信されるメールに混ざれば、よほど気をつけないと見落としてしまう。

[3] 授業中に加えて、自宅での学習が行いやすいように、科目専用のホームページを作成した。

[4] PC 演習を行いつつ講義なので、廻りと相談しながら進めるようコミュニケーションを促した点は評価できると思う。PC 操作に慣れた学生にとってはやや退屈な講義だった可能性がある。

[5] 再履修生用の科目であるため、情報・数量スキル T(6)と同様。

設問 15 FD 活動レポートに関して特記すべき報告があれば添付ファイルで提出してください。

提出ファイル： なし

**C (問 16～18)：中期目標・中期計画のうち「コミュニケーション能力の育成」についてお尋ねします。**

設問 16 授業に「コミュニケーション能力の育成」を考慮した内容が含まれていますか？

①はい： 7 (88%)      ②いいえ： 1 (12%)      未回答： 0 (0%)

問 16 で「はい」の方は問 17、18 にお答えください。

設問 17 下記のどの点を重視しましたか？（複数回答可）

- ①聞いて理解する： 3 (38%)
- ②読んで理解する： 1 (13%)
- ③自分の考えをまとめて話す： 1 (13%)
- ④自分の考えを文章にまとめる： 4 (50%)
- ⑤討論する： 0 (0%)
- ⑥皆の前でプレゼンテーションする： 2 (25%)
- ⑦その他： 0 (0%)

設問 18 「コミュニケーション能力の育成」に関して具体的な取り組みがありましたら、記述してください。

回答： 2 クラス（順不同）

[1] 自己を表現できる場(プレゼンテーションの機会)を設けた。

[2] 制限時間内に全員の前で自己紹介を行うプレゼンテーションを課し、その際に地域に関する話題を盛り込むよう指示した。

**D (問 19～22)：中期目標・中期計画のうち「地域を教材とする基礎教育/共通教育プログラム」についてお尋ねします。**

設問 19 授業に「地域（宮崎）を教材とする」内容が含まれていますか？

①はい： 8 (100%)      ②いいえ： 0 (0%)      未回答： 0 (0%)

問 19 で「はい」の方は問 20～22 にお答えください。

設問 20 その内容を授業に取り上げるおよその回数を選んでください。

①1～5回： 8 (100%)      ②6～10回： 0 (0%)      ③11～15回： 0 (0%)

未回答： 0 (0%)

設問 21 「地域」のどのような分野を取り上げていますか？（複数回答可）

- ①歴史・文化： 3 (38%)      ②政治・経済・産業： 7 (88%)      ③自然環境・フィールド体験： 3 (38%)  
④その他： 3 (38%)

設問 22 「地域を教材とした基礎教育/共通教育プログラム」に該当する特色ある活動がありましたら、記述してください。

回答： 3 クラス

[1] 地域データの解析を通し、宮崎県産業の理解を促した。

[2] グループワークで調査させ、レポートを提出させた。

[3] 広く地域をとらえ、伸ばすべき良い点と改善すべき点、およびそれらを実現するための方策を、数値的根拠を示しつつ自分の言葉で表現するレポートを課している。